

事業名 維新百年記念公園

都市公園整備事業

身体障害者、幼児、高齢者の利用に十分配慮した「ユニバーサルデザイン」による、みんなにやさしい公園づくり

受賞機関 山口県山口土木建築事務所
事業実施期間 平成11年3月12日～平成12年3月25日
事業費 155百万円



モデル体験

事業等の特徴

計画にあたって、身障者や幼児・児童、高齢者等、すべての人々が安全に利用できる施設を整備することが考慮された公園である。公園のモデル施設の体験会や意見交換会を行いつつ、ユニバーサルデザインを取り入れた公園整備を積極的に推進している。

利用者からは「子供を安心して遊ばせることができる」との意見や、「スロープ勾配が非常に緩やかで利用しやすい」など様々な意見が出されている。

事業の概要と利用者等の評価

整備箇所である維新百年記念公園内の二級河川木崎川は階段式の親水護岸が整備しており、家族連れの憩いの場となっていた。しかし、木崎川が芝生広場から4.5m下を流れているために、石段を降りなければならず、身障者や高齢者らにとっては使いづらいとの意見もあり、誰もが安全に水と親しむことのできる親水広場の整備を行なった。

施設計画にあたっては、身障者や高齢者等が安全に利用できる施設にすることを念頭に設計を進めた。

整備にあたっては、「利用者あつての公園づくり」をモットーとし、事前に主要施設のモデル施設を現地に設置し、現場説明を行なうとともに、実際に公園利用者にモデル施設の体験をしてもらい、そこで出された意見を工事に反映させるシステムを試行した。また事業の進捗に応じて、意見交換会を行ない、利用者との交流を深めた。モデル施設の体験会や意見交換会には、延べ200人以上の参加があり、活発な意見交換の場とすることができた。

モデル施設の体験会などを通じ、施設の完成形に対しての理解をより深めることができたため、利用者にとっては意見が出しやすく、建設的かつ画期的な意見が出された。また体験会の感想や意見、アンケート結果をもとに、意見交換会を重ね、利用者とともに考え、それを現場に反映するシステムとしたため、利用者には自分たちの公園であるという意識や、施設をよりすばらしくしようという意欲が生まれたことから完成直前に行なった最後の意見交換会では、施設の満足度の高さがうかがえる意見が多く出された。

事業完了後初めての平成12年夏には、子ども連れの家族など連日200名を超える利用者があった。誰でも手軽で安全な親水広場という設計コンセプトについては、特に小さな子どもの母親には、「遊びに連れてきても安全なので安心」という評価を得ている。

審査委員会委員の意見等

- ・モデル施設体験による利用者の意見反映システムと障害をもつ方、幼児、高齢者の水とのふれあいが実現できた。
- ・モデル施設により意見を出しやすくしたことに工夫が見られ、良い効果を発揮している。
- ・公園は他の都市施設に比べてバリアフリー対応が遅れているところが多かったが、こうした施設が量的に増え他のモデルとなることを期待したい。
- ・計画時に行ったモデル施設の体験会や、事業の進捗に併せて行った意見交換会を通じて出された意見を取り入れ、利用者の視点に立って事業実施したという整備手法について評価できる。